

しんば賀津也と歩む会 NEWS



Shimba Kazuya to Ayumukai NEWS

平成24年7月発行 Vol.21 11,000部発行

「歩む会」の皆さまには、変わらぬご支援とご指導を賜り、心から感謝致しております。

早いもので来年夏の参議院選挙まで、あと一年となりました。三期目の挑戦に向けてこれからの一年間は、国会同様に地元でも、今まで以上に積極的に活動をしていく決意です。よろしくお願い致します。

さて、国会では「社会保障と税の一体改革」についての三党合意が成立し、活発な党内での議論が行われた上で、関連法案が衆議院を通過しました。新聞やTVなどのマスコミはこの議論を「消費税増税に賛成か反対か？」という政局論争にすり替えて報道していますが、それは大きな間違いです。なぜならば「一体改革」の目的は消費税の引き上げではなく、年金、医療、介護、子育てといった社会保障の充実が目的であって、税収の確保はあくまでもそれを達成するための手段でしかないからです。今後の社会保障についての具体的な中身については国会や「国民会議」の中で議論が予想されますが、常態化したところある「ねじれ国会」の中、三党合意を経てようやく国会が動き出した感があります。

さて、少子高齢化が進む日本では年



議院運営委員会筆頭理事として本会議の議事を説明

金、医療、介護の分野だけでも年間約108兆円の社会保障費が必要です。その内、年金支給にかかる費用だけでも、約半分の53・6兆円に上ります。年金支給には現役世代の年金の掛け金が当てられています。総額の約半分が税金で賄われています。社会保障費全体では、年間約30兆円の税金が一般会計から拠出されています。更なる少子高齢化の影響で、今後は毎年1兆円の費用負担増が見込まれています。

昭和25年当時は、現役世代20人が1人の高齢者を支える構図でしたが、今では3人で1人を支える時代です。私が83歳になる2050年には、1人が1人の高齢者を支えなくてはならなくなると予測されています。肩車型へと支える側が減少していき社会保障制度はもはや限界を迎えています。

それに加えて、平成6年から大量発行がはじまった赤字国債が膨らみ続け、麻生内閣時代の平成21年には、ついに年間の国債発行額が国の税収を上回るまでの「借金大国」になってしまいました。私が初当選した平成13年当時の国債残高は400兆円程でしたが、12年後の現在は1000兆円に迫りつつあります。日本の対GDPの債務比率は217%。ギリシャやイタリアよりも厳しい状況です。それにもかかわらず、両国のような金融危機に陥っ

ていないのは、幸いにして①わが国には1500兆円ほどの国民総資産が存在し、②日本の国債の92%が日本人によって保有されており、③増税余力が他国よりもあるためです（欧州の消費税にあたる税率は15〜25%）。

しかし、日本も2025年には800万人もの団塊の世代が年金受給者になり、社会保障費の総額が146兆円にも上るとされています。財政負担が急増し、多くの年金受給者が生活費のために預貯金を切り崩すことで、世界の市場から「日本は財政再建を断行する政治的意思がない！」と判断されれば、わが国も金融破綻へと陥る可能性が出てきます。だからこそ、一体改革から消費税の問題だけに焦点を当てるのではなく、年金や医療、介護、少子化対策、パート労働者を含む国民の働き方についての徹底した議論をし、合意形成をはからなくてはなりません。

「社会保障と税の一体改革」同様に、赤字国債を発行するための「特例公債法」や衆議院での一票の格差を是正するための「選挙制度の改正法」も遅延を許されません。これら懸案の法案を処理すると、いよいよ衆議院の解散総選挙の足音が聞こえてきます。

「高い山ほど慎重に、確実に登れ」経済と財政の再建に道筋を立て、日本の社会保障を守るという「国民との約束」を必ずや成し遂げるために、批判を恐れず、ブレずに、国政での職責を真摯に果たしてまいります。

今後とも、厳しくご指導頂きますようお願い申し上げます。

参議院議員 榛葉賀津也

【所属委員会】議院運営委員会筆頭理事、外交防衛委員会委員 【党職】参議院民主党・新緑風会常任役員

5/2~6 (水) (日) オーストラリア視察

国会日程の合間を縫い、豪州政府招待で豪州を視察。弾丸日程の2泊5日(機内2泊)の中で、政府要人や軍、有識者等多くの方々と意見を交わした。



ボブ・カー外務大臣

2/14 (火) 日本・イスラエル国交60周年記念シンポジウム

榛葉議員はイスラエルに縁のある数少ない国会議員としてパネルディスカッションに参加。緊迫するイラン情勢やエネルギー問題、自身のイスラエル留学の体験からの安全保障観を論ずるなどし、参議院議員会館講堂を埋め尽くした出席者は大いに盛り上がった。



5/16 (水) お茶振興議連視察



榛葉議員が会長を務めている「民主党お茶振興議員連盟」が神奈川県足柄市を視察。茶畑や茶工場を視察し、JAでは地元の茶業関係者と意見交換を行った。



2/16 (木) 京都迎賓館視察



議院運営委員会として京都迎賓館を視察。京都迎賓館は東京にある赤坂迎賓館と同じく、外国要人等をお迎えする外交活動拠点としての役割を担う。視察ではその役割や活用方法などの説明を受け、意見交換を行った。

5/18 (金) 静岡県馬術連盟会長に就任

歴史と伝統ある静岡県馬術連盟の会長に就任。連盟は馬術の普及、技術向上を目的に、競技会運営や国体などへの選手派遣等、多彩な事業をおこなっている。



人と馬の歴史は深い。会長として、馬術の振興に尽くしていきたい。

3/6 (火) がれき処理推進議連副会長に就任

東日本大震災によって生じた災害廃棄物の広域処理を進め、被災地の一日も早い復興を目的とする「がれき処理推進議員連盟(略称)」が設立。会長には元文科大臣の高木義明衆院議員が就任し、榛葉議員は副会長に就任した。



6/14 (木) ミャンマー与党総書記一行の来日

2010年の民主化以降、世界の注目の的となっているミャンマーからテーウ与党総書記一行が来日され、榛葉議員が事務局長を務める「日本・ミャンマー友好議員連盟」と意見交換会を開催。総書記とは民主化以前からの長い親交があり、日本で再会を歓迎した。



4/16 (月) 米軍再編についての意見交換



米国防総省にて東アジアを担当するラボイ国防次官補代行が来日し、国会事務所にて米軍再編等について意見交換を行った。予定していた時間を大幅に超えて、活発で有意義な意見交換が行われた。

6/20 (水) 復興チャリティープロレス感謝状を授与



コミッショナーを務めるプロレス団体の震災復興チャリティーマッチにご尽力をいただいた方々へ、団体を代表し感謝状を授与。授与された方々と初代タイガーマスク、過激な仕掛け人こと新聞寿氏とリング上で記念撮影を行った。

4/26 (木) 安保研会長代行に就任

与党の安全保障政策を取りまとめる「民主党安全保障研究会議」が発足。会長には元防衛大臣の北澤俊美参院議員、榛葉議員は会長代行に就任した。第一回総会では拓殖大学教授の森本敏先生(現防衛大臣)から日本の安全保障環境について御意見を賜った。



4/23(月) 新茶初取引

【JA遠州夢咲・集出荷場】

菊川市にて味わい深い「深蒸し茶」の取引が開始され、今年も新茶シーズンが到来。お茶振興議員連盟会長として、茶業の抱える諸課題の解決に全力を注ぐ。



1/20(金) 国会見学事前説明

【菊川市立堀之内小学校】

榛葉議員の母校の小学校6年生に、国会の役割と政治の大切さについて講演。真剣に聞き入る子どもたちを前に、榛葉議員の説明にも熱が入った。将来を担う子どもたちのために、政治の果たす役割と責任の重さを痛感した。



各種スポーツイベントに参加

2/19(日)



正剛本部招待空手道大会
【御前崎市浜岡体育館】

4/28(土)~29(日)



全日本極真空手道選手権大会
【静岡市グランシップ大ホール】

2/23(木) 世界らん展と新大久保コリアンタウン日帰りツアー



毎年恒例のらん展ツアー、今回は31名のご参加を頂き、参議院会館での榛葉議員との懇談後、注目スポットの新大久保コリアンタウンで昼食と散策、その後は東京ドームでの世界らん展を見学。東北復興のフラガール公演もあり、楽しい一日となった。

6/17(日) 静岡県フーバ(ふくしバレー)大会

【菊川市立岳洋中学校体育館】

静岡県フーバ協会顧問として参加。250名を超える小学生からお年寄りまで、幅広い年齢の方たちと共に、楽しいひと時を過ごした。

※フーバとは菊川市発祥の㊦だんの㊧らしを㊨あわせにするバレーボール



6/24(日)

静岡県ドラゴンボート大会
御前崎市長杯

【御前崎港貯木場】

3/4(日) 第7回グラウンドゴルフ大会

今年は3月になっても寒い日が続き、大会当日も厳しい寒さだった。しかし、200名を超える参加者の熱気の中、和気あいあいとした楽しい大会となった。



【菊川市小笠グラウンドゴルフ場】

各地で国政報告会や講演会を開催

労働組合や業界団体、各地域の異業種交流会をはじめとし、多くの皆様からのご依頼を受け、防衛や社会保障、税などについて国政報告会や講演会を今年前半で19回開催。



5/12(土) 小糸労組「こいとフォーラム」での国政報告会(センチュリーホテル静岡)

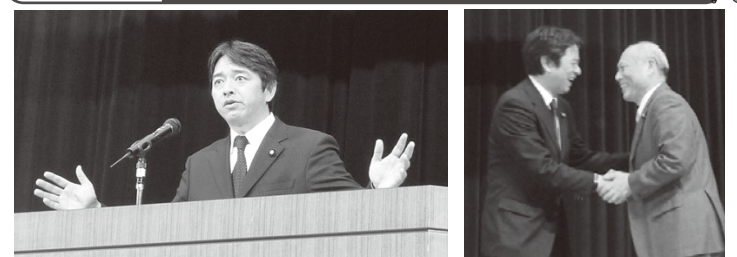


2/12(日) 戸塚久美子後援会【勉強会】での講演(掛川市生涯学習センター)



2/18(土) 静岡歯科医師連盟第2区支部交流会での講演(藤枝歯科保健センター)

3/18(日) 第11回総会・国政報告会



【菊川文化会館アエル大ホール】

11回目の開催となった国政報告会が皆様のご協力のもと、盛大に開催することができた。今年のゲストは新党改革代表の参議院議員舛添要一先生。舛添先生には初当選以来ご指導を頂いており、社会保障と税の一体改革が注目されている中での、舛添先生の体験からの福祉観や、厚生労働大臣時代のお話に、多くの参加者が耳を傾け、意義ある報告会となった。

4/14(土) 新東名高速道路開通 御殿場JCT~三ヶ日JCT



3/25(日) 開通前の記念イベント わくわくウォーキング(森掛川川)[右から3人目]

歩む会の役員会を月1回開催



役員が様々な知恵を出し合い、歩む会の運営に携わっている。榛葉議員からのミニ国政報告もあり、国政の現状について理解を深めている。榛葉議員への支持拡大と交流の輪をさらに広げていきたい。

東名とのダブルネットワークで渋滞緩和が図られるとともに、災害時の拠点となる12箇所のヘリポート、新たなコンセプトのサービスエリアなど、魅力あふれる大動脈が完成した。



4/14(土) 開通式典(新富士IC)でのテープカット[左から2人目]

●● 賀津也の部屋 ●●

西野ゆかり35歳。婚活中!

「ボス、日本に帰ってきたのでご馳走してください!」

屈託のない明るい声が携帯電話から聞こえてきた。電話の主は西野ゆかりさん。私が初当選した際に政策秘書を務めてくれた方だ。ピースウィンズという日本を代表する国際NGOに在籍する彼女は、アフリカはケニアのダダブ難民キャンプでの任務を終え、1年ぶりに帰国した。

地元山梨の高校を卒業した彼女は、国際基督教大学(ICU)で国際関係論と開発経済学を専攻し、経済関連のシンクタンクに就職をした。その後、合格率5%という超難関の国会議員政策秘書資格試験を24歳の時に見事一発で合格。英語とロシア語に堪能な彼女は、私の初代政策秘書になってくれた。

私と西野さんのデビュー戦は、2001年の初当選直後に起こった9・11同時多発テロを受けての「テロ特措法・合同審査会」、小泉総理(当時)出席のNHK全国中継であった。凄まじい重圧の中での国会議員としての初質問、それを練り上げたのが西野さんであった。新人の私に対し、小泉総理が「君の質問は素晴らしかったよ」と声をかけてくださったが、それは西野さんの功績に他ならなかった。

4年半もの長い間、政策秘書として私を支えてくれた彼女は、机上で立法事務をサポートする政策秘書の仕事から「世界の援助の現場で途上国の人々のために働きたい」と榛葉事務所を卒業。NGOピースウィンズに新天地を求めた。

以来、今日まで、世界の紛争地域や被災地を飛び回り、難民や紛争被害者、被災民のために汗をかいている。

パキスタンでは大地震で被災された方々のためにキャンプの運営に尽力し、レバノンではヒズボラとイスラエルの紛争で行き場をなくした遊牧民調査に現地入りをした。

内戦終了直後の南スーダンには2年半もの間を現地でも過ごした。内戦からケニアやウガンダに逃げていた多くの帰還民のために、井戸を掘り、診療所をつくり、学校を建てた。長期勤務の唯一の日本人として、現地のボディーガードを何人も雇いながら、任務をやり遂げた。

スリランカでの2年間は、「タミールの虎」の内戦終了後の避難民のために、生計支援や食糧支援をする仕事だった。共同炊事場をつくり、そこに米や野菜、カレー粉を配布する。給水をする。仮設住宅を建て、仕事を失くした大工さんにノコギリや金槌を配る。漁民に船や網を与える。主人を失った未亡人の家庭には、ニワトリを配り、卵を売って生活できる環境を整える手助けをする…。

今日を生き延びるための緊急的な支援から、持続的な生活が可能になるための生計支援こそが大事なことがよくわかる。ハイチの地震では壊れた学校再建支援に尽力し、ケニアではダダブ難民キャンプで仮設住宅を建造する仕事を担っている西野さん。世界に誇れる日本人であり、尊敬されるに値する人間である。

「歩む会ニュースに、西野のこと書いていいか?」

「ボス!私、気づいたら35歳です。婚活の邪魔にならないようにしっかり書いてくださいよっ!」

「歩む会ニュース登場のお礼に何かご馳走してやるよ…」

「ありがとうございます!でも、来週からダダブの難民キャンプに戻るので帰国後お願いします!」

身体に気を付けて、とにかく無事に帰ってきてください。西野さん。

2012年後半

活動計画

国会見学&東京ソラマチ

9月 6日(木) 歩む会天竜支部

日帰リツアー

会費/1万円

9月 12日(水) 歩む会菊川・掛川・御前崎支部



楽しいツアーを計画中! 皆さんふるってご参加ください♪ 詳細は事務所までお問合せください。

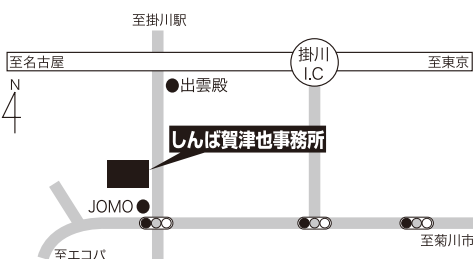
民主党党员・サポーター登録の御礼

党员・サポーターのご登録をいただき、ありがとうございました。今年も多くの皆様のご理解とご協力をいただき、昨年を上回る実績を上げることが出来ました。皆様のお気持ちを胸に、初心を忘れず日々精進してまいります。

『しんば賀津也と歩む会』 会員募集中!

私たちと一緒に榛葉賀津也の政治活動を支えていただける方を募集しています。

年会費は2,000円です。詳しくは事務所までお問い合わせください。皆様のご入会を心よりお待ちしております。



かづや しんば賀津也と歩む会

〒436-0022 静岡県掛川市上張862-1 FGKビル TEL 0537-62-3355 FAX 0537-62-3356

E-mail go@k-shimba.com

<http://www.k-shimba.com>

発行責任者: 会長 松下知生

『しんば賀津也と歩む会』は榛葉賀津也の後援会です。